

挨拶日本一、地域に愛される垢田中をめざして

下関市立垢田中学校

学校運営協議会について

◆ 委員の構成

14名（自治連合会長、川中支所長、学校応援団代表、青少年補導員幹事
婦人会代表、保護司、民生児童委員協議会代表、校区小学校校長
校区小中学校PTA会長、PTA会長OB）

◆ 実施回数と主な協議内容

- 第1回（7/21）令和2年度学校運営方針、今年度の進め方、生徒の様子について
- 第2回（9/29）前期学校評価、生徒の様子について
- 第3回（11/16）授業参観及び研究協議、後期学校評価について
- 第4回（2/2）令和2年度学校運営評価、令和3年度学校運営方針について

特色ある活動

◆ 学校支援の活動

高校受験に向け、地域人材による3年生の面接指導を行いました。生徒は緊張感のある面接を体験し、面接官である学校運営協議会委員や地域の方々は、中学生の意見や考え、彼らの真剣な姿に触れることで、生徒や学校への理解を深めました。



◆ 食育の推進

平成28年度より、ふるさと協育ネットと連携し、「食の自立～自分の食事は自分で作る～」をめざし、本校区全体で食育を進めています。その取組として、生徒の作る「お弁当の日」を毎年実施しています。「お弁当の日」に向けては、掲示物での広報活動や食育に関する家庭科の授業などを通し、工夫を凝らして自分で作る生徒が増えています。今年度は「はなちゃんのみそ汁」の安武信吾氏が監督として製作されたドキュメンタリー映画の上映会を本校で実施しました。

◆ 地域貢献（地域ボランティア隊）の活動

本校は「地域ボランティアを通して自主性や地域住民とのふれあいを深める」をテーマとして取り組んでいます。地域からの要請による海洋プラスチックゴミへの理解を深める海浜清掃には、全校生徒の約半数、教職員の大半が参加しました。地域住民との会話や参加後に感謝の言葉をいただくことにより、生徒たちは自己有用感を得ることができ、さらに活動したいという気風が生まれつつあります。



来年度に向けて

これまで「挨拶日本一 地域から愛される垢田中」をスローガンに、地域貢献を主体として進めてきました。地域でのボランティア活動は、地域住民から頼りにされるようになり定着してきています。今後も、地域貢献と業務改善の推進を図るために、地域が必要としていること、学校が必要としていることを学校運営協議会で熟議し、継続可能で生徒の育成につながる活動に力を入れていきたいと思っております。

「地域とともにある澁刺（はつらつ）とした学校」をめざして

下関市立川中西小学校

学校運営協議会について

1 実施回数

3回開催～2学期：1回 3学期：2回

2 主な協議内容

地域とともにある澁刺とした学校づくりについて協議しました。学校から3部会それぞれの立場での本校の取組状況や課題についての具体的な説明を行いました。その後、学校運営・学校支援・地域貢献の観点から熟議を行い、学校運営協議会委員の意見を聴取し、取組の改善や新しい取組について話し合いました。



熟議の様子

特色ある活動

1 地域貢献に関する取組

「地域参加型」ラジオ体操、毎朝開催

毎朝8時5分から全校一斉に行っているラジオ体操は、本年度も行っています。昨年度、小学校ラジオ体操全国大会で見事2位となった「2代目 川中西小ラジオ体操はつらつ隊」に影響を受けてますます盛んになりましたが、コロナ禍で校地内に入れぬ地域の方々も、校庭を見下ろすことのできる空き地で体操をする姿が見られることから、「地域に元気を届けるラジオ体操」は大きく貢献しています。また、婦人会主催で行われた綾羅木海岸清掃についてメールやHPを利用して周知することで、多くの児童・保護者の参加が得られ、地域の環境保全に関心・意欲の喚起に役立ちました。



毎朝のラジオ体操

2 学校支援に関する取組

CSコーディネーターを中心とした活動や図書ボランティアによる積極的活動

コロナ対策を徹底したうえで、CSコーディネーターが中心となり、地域のボランティアと協働した活動「川中西あそぼう会」が毎月2回程度行われています。

また、図書ボランティアによる「読み聞かせ」も、本校の司書教諭とコミュニケーションをとりながら、各学年の行事や季節に合わせた内容を選ぶなど、これまでと同様に行っています。また、「ふれあいバザー」において「しおりづくり」を開催したり季節に合った掲示も工夫したりすることで、児童の読書意欲・関心を喚起するとともに、読書量の向上にも大きく貢献しています。

来年度に向けて

「子どもたちのために、コロナ禍でも何かできることはないか」を合言葉に取組を模索・実践してきました。来年度は、本年度中学校区での児童生徒像の実現に向けて取り組んできた3部会考案によるプロジェクトを中心により具体的な取組を行っていきたいと思います。

今後もコミュニティ・スクールを核として、学校・家庭・地域の絆を深めながら、更なる「地域とともにある澁刺とした学校づくり」の充実を図りたいです。

「地域の宝 垢田っ子」の育成をめざして

下関市立垢田小学校

学校運営協議会について

・主な協議内容

第1回…4月24日(金)中止

第2回…6月17日(水)中止 学校運営協議会の活動計画等、書面で発送

第3回…9月16日(水)延期

11月10日(火)授業参観後熟議 学校の現状、第1回学校評価の結果等

第4回…2月10日(水)延期

3月4日(木)学校の現状と第2回学校評価結果、来年度に向けて等

特色ある活動

◆学校行事への参加～学校支援～

【ジャガイモプロジェクト】

総合的な学習の時間において、「食育」をテーマとした「ジャガイモプロジェクト」を行いました。地域の方を指導者として迎え、PTAの協力も得て育てたジャガイモです。ただ例年と違い、今年は販売対象が家族限定でした。6年生は新型コロナウイルス感染症対策をし、「スマイルdeフェスタ」当日の販売に向け計画を立てました。その内容は、「地域で活躍しているプロの方に教えてもらう」ことです。

6年生は各部に分かれて、ジャガイモプロジェクト販売当日に向けた講話・指導を受けました。宣伝部の子供たちはアートネクストさん・居酒屋いちさんから、交通部の子供たちは交通安全協会の榎本指導員から、購買部の子供たちはハローディの方々から、それぞれのプロの視点で「何が大切なのか」「何に気を付けたらよいのか」等を教えていただきました。

当日は、育てたジャガイモと農家さんが作った新鮮野菜を販売しました。買いに来た方と距離を保つためのドライブスルー方式も大成功でした。

来年度に向けて

新型コロナウイルス感染症問題が、沈静化されることを願い、現状に沿った活動を模索しながら、保護者や地域の方が無理なく、笑顔で参加できる方法を考えていきたいと思っております。

